

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

平成30年第3回（3月）定例会

- 1 堀 川 義 徳
- 2 樗 沢 諭
- 3 宮 澤 一 照
- 4 山 川 香 一
- 5 高 田 保 則
- 6 岩 崎 芳 昭
- 7 渡 辺 幹 衛
- 8 横 尾 祐 子
- 9 霜 鳥 榮 之

予算総括質疑通告要旨

平成30年第3回（3月）定例会

1 堀川義徳

1 総合計画等評価・策定事業について

- 1) 第2次総合計画の具体的な評価基準は。
- 2) 市民まちづくり意識調査の内容は。
- 3) 第3次総合計画策定のスケジュールは。

2 地方創生推進事業について

- 1) 地域力創造アドバイザーの具体的な役割は。
- 2) 新たな事業創出に向けた具体的な調査研究内容とは。

3 妙高山麓ゆめ基金事業について

- 1) ゆめ基金の利用状況は。
- 2) ガバメントクラウドファンディングの内容は。

4 森林多面的機能発揮対策事業について

- 1) 民有林の整備内容と整備地域は。
- 2) ふるさと妙高の家づくり事業拡大への具体策は。
- 3) みどりの学習推進事業の内容は。

5 企業立地促進事業について

企業誘致活動の内容と見込みは。

6 特色ある教育活動支援事業について

新井南小学校の海外宿泊体験学習の成果と今後の展開は。

1 広報・広聴活動推進事業について

- 1) 市長への手紙、パブリック・コメント制度の状況はどのようなか。
- 2) 市報みょうこう、市ホームページなどでの市政の情報発信はどのようなか。また、災害時の被害状況把握について、どのように取り組むか。
- 3) J C V、有線放送の市内加入率はどのようなか。妙高チャンネル放送の改善策はどのようなか。

2 コミュニティ防災組織育成推進事業について

- 1) 地震、異常気象で集中豪雨・豪雪の災害が多発し、市内地域別の防災体制が必要だが、どのようなか。
- 2) コミュニティ防災組織、防災士の活動と自主防災訓練の実施状況はどのようなか。
- 3) 防災活動を支援する補助制度の見直しの目的や内容はどのようなか。

3 地方創生推進事業に関連して

- 1) 過年度の地域創生方策調査からの施策の取り組みはどのようなか。わかもの会議等の推進事業の成果と課題はどのようなか。
- 2) 地方創生を実現するためには、妙高の大自然の価値を高め、人を育てることが必要と施政方針にあるが、具体的な内容はどのようなか。

4 社会福祉協議会助成事業について

- 1) 社会福祉協議会の基本方針、組織、収支決算はどのようなか。
- 2) 市補助事業、受託事業、共同募金事業の各事業内容はどのようなか。
- 3) 災害想定と災害時のボランティアセンターの体制はどのようなか。
- 4) 生活支援ボランティア・高齢者の拠点づくり、生活福祉資金相談事業等はどのようなか。

5 地域安心ネットワーク推進事業について

- 1) 市の高齢世帯は約 1350 世帯、高齢者単身世帯は約 1000 世帯だが、75 歳以上の高齢世帯数と支援状況はどのようなか。
- 2) 地域支援専門員、地域連携会議の活動内容はどのようなか。

6 スポーツ施設整備事業について

- 1) 当市のスポーツ活動施設の市内外の利用者から要望、意見と対応はどのようなか。
- 2) 旧盛田昭夫記念体育館等の管理、利用等はどのようなか。
- 3) 体育施設等改修工事費の2億7150万円について、各施設の過年度の利用者数と改修内容はどのようなか。

7 子どもの通学等対策事業について

- 1) 安全運行と運行管理の効率化の内容はどのようなか。
- 2) スクールバスの小・中学生の対象人数と各委託料はどのようなか。
- 3) 市内バス料金の無料化の過年度の利用実績について、人数や金額はどのようなか。

3 宮澤 一 照

1 商工費に関連して

- 1) 妙高版DMO地域経営推進事業について、妙高版DMO体制整備やマーケティング事業、顧客管理システム（CRM）活用事業、観光プロモーション推進事業など各種事業の具体的な取り組み内容はどのようなか。
- 2) 道の駅あらい整備事業に関連して、道の駅あらいの拡充整備により、どのように市内の商業振興やにぎわいの創出、雇用、農業振興などにつなげていくのか。

2 衛生費に関連して

地域医療体制確保事業について、医師の確保を今後どのように進めるのか。また、救急医療受入体制の確保をどのように図るか。

4 山 川 香 一

1 都市と農村交流推進事業について

- 1) 里山体験活動の充実に向けた地域活性化施設周辺の遊歩道の整備について、候補適地はどこか。また、整備箇所数など計画はどのようなか。
- 2) 地域活性化施設を中心とした地域の活性化に向けた取り組みについて、地域活性化施設とはどのような施設か。また、地域ごとに特色があるが、活性化には何が必要と考えているか。予算はどのように考えているか。

2 地域づくり活動団体支援事業について

地域づくりの活動総合交付金創設に関連して、地域づくり活動団体に交付している複数の補助金等を統合・拡充するとあるが、補助金をまとめることで申請の事務等が簡素化されることは良いことだが、全地域が同じような条件にない中、各補助金の費用対効果をどのように考えているか。

3 地域防災体制の強化について（コミュニティ防災組織育成推進事業）

自主防災組織の資機材整備に対する補助の拡充について、補助対象となる資機材はどのようなものか。また事業の継続性についてはどのようなか。

4 観光誘客推進事業に関連して

1) 黒姫・妙高山麓大学駅伝大会の開催支援とあるが、効果はどのようなか。また、高校生の駅伝大会についても誘致すべきと考えるがどうか。

2) 観光誘客支援について、大規模イベント育成事業に対する補助要件で県全域以上に周知を行い概ね 1000 人以上の入り込みが見込まれる大規模イベントとあるが、これまでどのようなイベントに対し支援をしてきたか。また、今後観光誘客のためどのようなイベントを育てていく考えか。

5 競技スポーツ推進事業に関連して

1) ジュニア競技スポーツ育成への支援及びスポーツ大会開催に対する支援について、競技団体をつくり、ジュニアスポーツの大会開催を行う場合、どのような基準や条件で支援を行っているか。また、現在どのような競技に支援を行っているか。

2) 今後ジュニア競技スポーツに対し更に支援すべきと考えるが、どのような競技種目や大会開催に力を入れるべきと考えるか。

5 高田保則

1 人口減少対策について

人口ビジョン、平成 30 年度経営方針、平成 30 年度施政方針における人口減少の要因についての認識が相違していると考えますが、平成 30 年度事業や予算に影響はないか。

2 市民主体の健康づくり事業について

健康寿命延伸には数値化が必要だが、平成 30 年度はどのように取り組むのか。

3 妙高山麓ゆめ基金事業について

ガバメントクラウドファンディングの具体的な取り組み内容はどのようなか。どの事業で活用するのか。

1 鳥獣対策事業について

- 1) 平成 29 年度のツキノワグマ・イノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの各捕獲頭数と現状認識はどのようなか。
- 2) 捕獲頭数から生息頭数はどの程度と推測しているか。また、イノシシ・ニホンジカ・ニホンザルの出没（目撃）情報の範囲動向はどのようなか。
- 3) 鳥獣被害対策実施隊の「箱わな」、「くくりわな」の整備計画はどのようなか。
- 4) 妙高市鳥獣被害防止計画について
 - ① 平成 30 年度で計画している捕獲頭数はどのようなか。
 - ② 平成 29 年度計画で「食品として利用等その有効な利用に関わる検討をする」としているが、検討結果の 30 年度事業への反映はどのようなか。
- 5) 捕獲または狩猟による鳥獣処分の在り方について
 - ① 現在の土中埋設は、処分頭数の増加等により環境面・衛生面で問題ないか。
 - ② ジビエとして、地域おこしや「食」の観光資源に活用するなど、解体処理施設の整備を図るべきでないか。

2 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 市民 1 人 1 日当たりごみ排出量の数値目標に向けた取り組みについて
 - ① 平成 30 年度の「市民 1 人 1 日当たりごみ排出量」の目標数値はどのようなか。
 - ② 循環型社会への転換を図るとしているが、重点取り組み事項は何か。
 - ③ 紙ごみ（メモ紙や紙片などの雑紙）の資源化を図るべきでないか。

3 新井南小学校の小規模特認校について（特色ある教育活動支援事業）

- 1) 平成 30 年度入学の学校見学、応募（就学申請）等の状況はどのようなか。
- 2) 首都圏における移住定住イベントへの参加や情報誌への掲載など、情報発信の工夫が必要でないか。
- 3) 特色ある「新井南小学校」づくりについて
平成 32 年度からは、全ての小学校で 3 年生以上の児童に対し外国語活動の取り組みがなされ、校区外から「南小」への魅力や特色にはならない。
 - ① 期間を限定しない「お試し短期入学制度」を導入すべきでないか。

- ② 学校教育活動を支える社会教育の充実を図り、地域住民が主催者となり、質の高い体験活動等の取り組みを提供すべきでないか。(例えば、放課後塾・土曜塾・日曜塾・スポーツ塾などの活動の主催)

4 コミュニティ・スクール推進事業について

- 1) コミュニティ・スクール懇談会と講演会の内容はどのようなか。
- 2) 地域が質の高い学社融合に取り組む必要があるが、この役割を果たす事務局、コーディネーターや地域づくりリーダーの人材確保はどのようなか。

7 渡辺幹衛

1 職員管理事業について

- 1) 「5時に帰るドイツ人、5時から頑張る日本人」という本が売れている。必要な職員数は配置されているか。
- 2) 8時間働けば普通の暮らしができることが労働基準法の基本だ。長時間労働の解消策はどのようなか。
- 3) 妙高市の36協定はどのようなか。

2 男女共同参画推進事業について

- 1) 市役所における男女共同参画の取り組みの現状と課題はどのようなか。
- 2) 職員の応募、採用、役職の男女比率はどのようなか。
- 3) 課長昇進と配偶者の退職状況はどのようなか。

3 入札制度検討事業について

- 1) 低価格落札の状況はどのようなか。
- 2) 低価格落札は、品質や出来栄えに問題はないか。
- 3) 最低制限価格の設定の留意点をどのように考えているか。
- 4) 積算基準が正当ならば、そもそもそれ以下での入札はどこかにしわ寄せをしなければ成り立たない。どこで調整されていると考えるか。
- 5) 一番しわ寄せされるのは、弱い立場の下請けや労務費である。公契約条例の制定を改めて求めたいがどうか。

4 水田農業経営安定対策事業について

- 1) 中小零細規模の農業の役割と課題をどのように捉えているか。
- 2) 中山間地農業を支える小規模農家の声にどのように応えるか。
- 3) 農業経営複合化促進事業の重点品目の選定基準はどのようなか。
- 4) 重点品目の選定で農家への影響はどのようなか。

5 道の駅あらい整備事業について

- 1) 農業生産者や指定管理者、消費者の声はどのようなか。
- 2) 農産物直売所「ひだなん」の現在位置での拡張の問題点はどのようなか。

6 サテライト妙高維持管理事業について

- 1) 立川市が妙高市に納付する場外車券売場設置負担金の率を当初の 5.2%から 3.85%に引き下げた理由はどのようなか。
- 2) 平成 30 年度の場外車券売場設置負担金の歳入見積が、29 年度当初予算と比較し 14%減となった根拠はどのようなか。

7 いじめ・不登校対策推進事業に関連して

- 1) 教育委員会は、学校からいじめ・不登校の全容について報告を受けているか。
- 2) 議会における教育長の答弁内容は、学校に十分伝えられているか。

8 横尾 祐子

1 犯罪のないまちづくり推進事業について

- 1) 子どもや高齢者などの見守り活動の内容はどのようなか。
- 2) 「110 ばん協力車」登録事業所への市からの働きかけはどのようなか。
- 3) 防犯講習会による防犯意識の啓発内容は、どのようなか。
- 4) 安全安心アドバイザーの配置について、取り組み内容はどのようなか。

2 交通安全対策事業について

- 1) 各季交通安全運動にあわせた、交通安全指導所の開設や高齢者世帯訪問、飲食店訪問の実施の取り組み内容はどのようなか。

- 2) 70歳以上の運転免許返納の呼びかけ方法はどのようなか。
- 3) 学校や園、地域における交通安全教育の実施について、内容はどのようなか

3 生活困窮者自立支援事業について

- 1) 生活困窮者相談支援員による自立相談支援とはどのようなか。生活困窮者は様々な課題を抱えているが、支援の方法はどのようなか。
- 2) ひきこもり等の実態調査結果や新たに収集した情報をもとに、こども教育課との連携会議を開催するが、どのように連携していくか。
- 3) 再就職に向けての就労支援の内容はどのようなか。

4 市民主体の健康づくり事業について

- 1) 平成30年度の「妙高元気ポイント」実施の特徴、キーワードはどのようなか。ポイントを貯め、交換する景品の内容はどのようなか。
- 2) 健康フェアの開催、運営方法はどのようなか。
- 3) 食生活改善推進委員のなり手の推進はどのようなか。食生活改善推進委員の活動と任期についてはどのようなか。

5 健康保養地づくり推進事業について

- 1) 健康保養地プログラム研修会の内容はどのようなか。
- 2) 妙高高原健康ツアーの開催時期と内容はどのようなか。

9 霜鳥榮之

1 介護保険第7期計画に関連して

- 1) 第6期計画の成果と課題はどのようなか。
- 2) 介護保険サービス利用における国、県との比較から市の実態と今後の動向をどのように見ているか。
- 3) 第7期計画での地域支援事業について、介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業、包括的支援事業、認知症対策推進事業の内容はどのようなか。また、第7期計画における社会福祉協議会との関わりはどのようなか。
- 4) 第7期における介護保険料の所得段階別の保険料設定はどのようなか。

5) 低所得者に対する国、県、市の負担軽減のあり方はどのようなか。

2 鳥獣対策事業に関連して

何回かの議論を重ねてきた結果、新たな取り組みが提起されているが、有害鳥獣の個体数の削減に向けての取り組みについては、もっと具体的な対応が必要だと考える。

1) グリーンシーズンでの個体数等のデータ作成とそれに基づいた具体的な計画の作成について考えはどのようなか。

2) 鳥獣対策実施隊の具体的な活動の計画はどのようなか。

3) 狩猟免許取得等の支援と鳥獣被害対策協議会の運営計画はどのようなか。

3 就労支援事業について

1) U・Iターン情報発信を行った結果、成果、反応はどのようなか。

2) これまでの高校生資格取得支援事業の結果を踏まえた進展はどのようなか。

3) 地域人材育成支援による地元就労の実態はどのようなか。

4 住宅取得等支援に関連して

1) 住宅取得支援事業の実態と成果はどのようなか。

2) 妙高ふるさと暮らし応援事業の支援員配置の成果と現状はどのようなか。

3) U・Iターン促進住宅支援事業の実態と今後の取り組み等はどのようなか。

5 生活交通確保対策事業について

1) 高齢者・障がい者のバス利用支援制度の関連で、実態と市民の声はどのようなか。

2) 今後の公共交通のあり方についての調査・研究における市民アンケートの実施内容はどのようなか。